

'2026年、日本のITは再生するか崩壊するか？ NTTデータAI自動化戦略の光と影'



「作り手」の消滅： 絶望的なIT人材不足

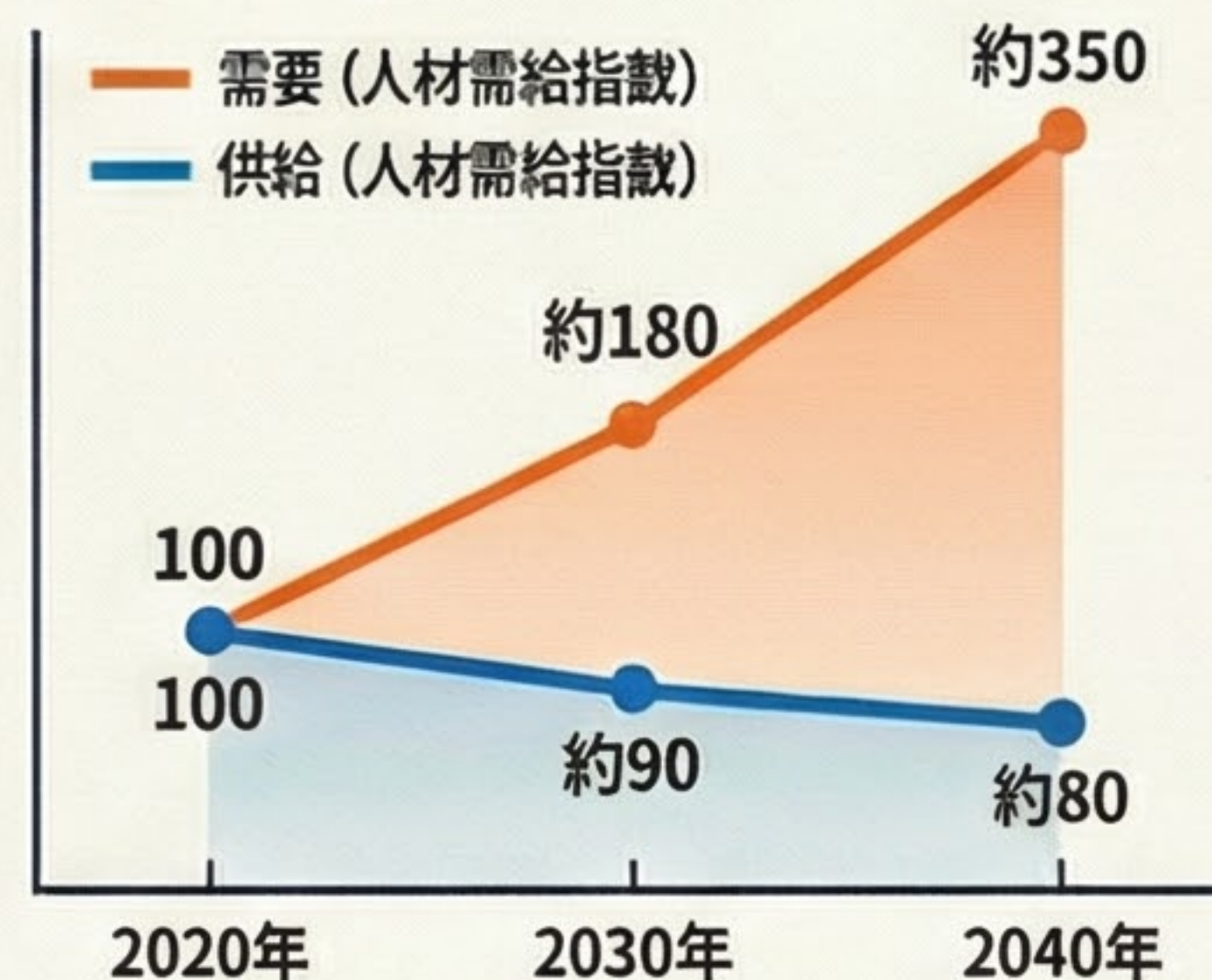
2040年には需要に対し約300万人規模
の人材不足が予測されている。



レガシーシステムの「呪縛」

熟練技術者の大集引退により、複雑なシス
テムの知識継承が機絶の危機にある。

IT人材需給ギャップの絶望的な拡大



「人月ビジネス」モデルの限界

AIによる生産性向上は、労働時間を売る従来
モデルの売上を侵蝕させるため定率が必要。

成功か崩壊か？ AIが拓く二つの未来



開発の主役交代： 「エージェントAI」の衝撃

自発的に計画・実行・修正を行うAIが、人間の
役割を「作成者」から「査査者」へと変える。



最大のリスク：

「Vibe Coding (雰囲気コーディング)」

開発者がコードを理解せずAIに頼り、修正不能な
ブラックボックスシステムを重畳する危険。



世界的リーダー： AIによる再生



デジタル廃墟：信用の失墜と衰退

NTTデータAI自動化戦略は、
日本のITの未来を左右する分岐点。